

介護家族の老後の不安 支えてくれるホームの職員

ファイナンシャルプランナー紹介

「共感してくれるのが嬉しい。兄嫁が専業主婦なのに介護をしないとか、母がごんごんわがままになっていくなど、今まで誰にも言えなかったことを、2時間も語り続けてしまったんです」

最後に公子さんは、「苦しんだったら訪ねてみて」と

と晩美さんに、親しい心理カウンセラーを紹介してくれた。

「仕事を辞めたのは、母が可哀想だったからですが、私が働かずに老いていくと、母が亡くなった後、母の年金がないと暮らしていけない」と

その日……。「母亡き後の自分の人生を考える」と悩んでしまおうと話し出す。対する公子さんは目を丸くして深くうなずいてくれた。

「紹介されたことだし、たいてい……」

公子さんからカウンセラーを紹介されたことだし、たいてい……

高齢者住宅に出張法務セミナー

行政書士など専門家が講師

(社)シニア法務サポート(東京都世田谷区)は、行政書士や税理士、社労士、司法書士など工業がネットワークを組む、有料老人ホームなど、高齢者住宅への出張セミナーに注力している。

テーマは成年後見制度や相続、遺言書、死後の事務まで高齢者が関わる法律問題を幅広く扱う。現在は都内を中心に有料老人ホームなどへ出張や相談会を行ったり、有料老人ホームの員学会など、近去事務委任などを盛り



入居検討者向け法務セミナーの様子

介護の現場から 第15回



小川陽子 1946年東京生まれ。日本大学芸術学部映画学科卒業。石原プロモーション、渡辺士郎フィルム編集室勤務の後、編集者、ライターとなる。雑誌の人間ルポルタージュを企画、取材、執筆。著書は、『さよなら子牛のモダン』『おかしな笑顔とありがとう』『ぼくたちは池田先生を忘れない』『親の認知症が心配になったら読む本』ほか。

持つべきものは、よき介護職

気がついたのね。でも母を施設に入れるのは、罪の意識が強くてできなかった。そこが苦しかった。

その後、公子さんは、私の「なんでも相談所」になってくれました。

晩美さんはカウンセラーに通い、母への罪の意識の問題に取り組み、気分が浮き沈みを治めていった。元気になる頃には、公子さんからファイ

「持つべきものは、よき介護関係者」の時代で

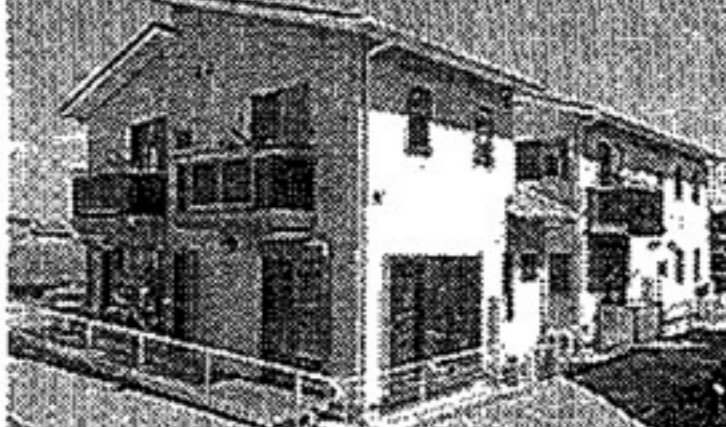
紹介された。

「財産を整理してみる」と預貯金が2千万円と古い家だけでした。ファイナンシャルプランナーは、古い家を改造して費用の節減をつくり、母の療養生活と私の老後が保証されるプランを立ててくれました。やっと展望がもてました。

晩美さんはプランを実行しつつ、信頼する公子さんがいるホームに母を入所させ、自分も保育士の資格を活かして就職した。賞金をもらったことで、晩美さん自身の年金ができたことになり、と喜んでる。

このなかには経済変化をこうやって低賃金に甘んじている人も多く、自分の財産も老後の蓄えもなく介護に突入というところが起きている。介護家族の老後の自立は、これからの大きな課題になるだろう。

サ付き住宅4棟目開設



▲「ハーウィルアシスト栗橋」の外観
白馬メデイケア、要介護向けに

埼玉県内でサ付き付高年齢者向け住宅(以下、サ付き住宅)を運営している白馬メデイケアは、9月に4棟目のサ付き住宅「ハーウィルアシスト栗橋」(同県栗橋市、以下、アシスト)を開設した。

自立から軽度者向けのサ付き住宅として4年前に開設した「ハーウィル栗橋」に併設させた。ハイルアシスト栗橋が暮らしやすい環境を整備した15〜20戸程度の小規模なサ付き住宅を展開。標準的な居室面積は約30平米から40平米以上と広い居室が特徴。共用部分は採光性の高い設計にし、天井を高くすることで開放感のあるつくりとした。

前田則夫所長は「中間所得層のアクティブシニアを対象に、少人数で楽しく共同生活できる住宅を今後も時間をかけながら開設する。埼玉を中心に首都圏での展開を想定している」と話している。

ふじみ野福祉会 小規模多機能併設 サテライト型特養を開設



▲施設の外観

られる中で、地域の拠点としての施設の役割は大きい。地域連携を図り、運営推進委員会を設け、常利用者の立場に立った運営に注力していきま

施設は2ユニットの間にスタッフルームを設けた設計となっており、設計を手掛けたリソテック(東京都新宿区)の大川健社長は「ユニットごとに独立しながらもスタッフが連携しやすい設計になっています。外断熱で室内の温度が一定になり、エネルギー消費も少なく済みます。ゆるやかなカーブを描いたRC構造、中庭のある造りは明るく機能的です」と話した。

介護・福祉

医療法人様・介護会社様 高齢者住宅セミナー開催!! ~高齢者事業と在宅医療の連携~

診療報酬改定により厚労省が誘導する今後の在宅医療

在宅医療は100%口コミです。診療の善し悪しだけではないノウハウが必要です。湘南なぎさ診療所は開業わずか5年で1,500名もの在宅患者を集めました。機能強化型の導入によって診療所間の連携や運営面での課題が見えてきました。これからの在宅医療の方向性と5年間のノウハウをたっぷりお話しさせていただきます。病院・診療所の医師をはじめ、看護師、事務スタッフ、介護施設の方まで幅広い方々にお聞き頂きたいと思ひます。

これまで医療法人社団黎明会 常務理事。株式会社エムイーネット代表取締役を歴任。専門は在宅医療。現在は医療法人社団南星会湘南なぎさ診療所の医療法人の事務長、顧問先は全国で40か所程度。講演は年間20本以上。高齢者住宅新聞「わかりやすい在宅医療」を連載。



医療法人南星会 湘南なぎさ診療所 事務長 中村哲生氏
ホームページアドレス <http://www.nanseikai.org> 在宅医療の南星会

日時 平成24年10月21日(日)
●受付開始/12:30~ ●講演/13:00~16:00

会場 4F
IT名駅ビル4階
カンファレンスルーム 4A
名古屋駅より徒歩5分

この横断歩道を渡ってください。

主催 ゴールドトラスト株式会社 全国に12棟536戸 (全国7位)の登録実績!!
お問い合わせ 052-588-2020 担当 河村